

地域と時を紡ぐ人々

連綿と受け継がれる地域の伝統や芸能、自然などを次代に継承する方々を、広報たかやまではシリーズで紹介していきます。

第九章 村芝居、300年の伝統を受け継ぐ

9月1日から町内3カ所の神社で次々と始まる「莊川 村芝居」は、江戸時代から約300年続くと言われる莊川町の伝統行事です。

各神社の例祭の前夜祭で奉

納される村芝居。代々受け継いできた伝統を絶やさない、地元の若連中たちは連夜、本番に向けて稽古を続けています。

村芝居はかつて、町内の多くの神社で演じられていましたが、若者の減少などで今では黒谷白山神社、野々俣神社、そして莊川神社のみです。

先陣を飾る黒谷白山神社では、8月16日から稽古を開始。神社境内にある奉納芝居小屋「開明座かひめいざ」では、本番前夜まで若者の芝居のセリフが響きま

す。演目は新旧15ほどある中から、その年の若連中の人数や男女の構成を考慮して決められます。今年は「いろは仁義」を上演。約1時間の時代人情劇です。

黒谷若連中の頭取、奥田康寛さん(27)は、「笑いと涙で感動していただける村芝居を楽しんでほしい」と語り、



立ち位置やセリフ回しなどを入念に練習(同座で)

300年の伝統を私たちの世代で絶やすわけにはいかない」と意気込みます。

莊川観光協会の会長、渡邊登のぼるさんもかつては村芝居を演じた一人。「村芝居は莊川の大事な伝統の一つ。若者たちの熱い演技を感じ取ってほしい。村芝居が終わると10月19日(日)には日本一の連獅子で有名なふるさと祭りも行われるので、ぜひ莊川を訪れていただきたい」と話していました。

莊川 村芝居

開演はいつでも午後7時、獅子舞などの後に、村芝居(午後8時ごろ)です。



本番を控え稽古に励む若連中のみなさん(莊川町黒谷の黒谷白山神社「開明座」で)

問合先

莊川支所地域振興課
☎05769-2-2211

9月1日(月)

黒谷白山神社
(莊川町黒谷)

9月3日(水)

野々俣神社
(莊川町野々俣)

9月14日(日)

莊川神社
(莊川町中畑)

●9月の「市民と市長の面談日」はありません。 問合先 秘書課 ☎35-3130